

会 議 名	第四回足立区ギャラクシティ運営評価委員会		
開 催 年 月 日	平成 29 年 12 月 8 日 (金)		
開 催 場 所	足立区役所 中央館 8 階 特別会議室		
開 催 時 間	14 時 00 分開会～16 時 00 分閉会		
出 欠 状 況	委員現在数	10 名	
	出席委員数	9 名	
出席者(敬称略)	■出席	委員長	■宮田 隆志 (東京大学大学院理学系研究科教授)
		委 員	■池田 幸也 (常磐大学コミュニティ振興学部学部長)
	□欠席	委 員	■井徳 正吾 (文教大学情報学部情報社会学科教授)
		委 員	■小森 伸一 (東京学芸大学学長補佐)
		委 員	■伊志嶺 絵里子 (東京藝術大学音楽学部非常勤講師)
		委 員	■林 克彦 (石洞美術館学芸員兼事務局長)
		委 員	□田中 則聡 (足立区立小学校 P T A 連合会顧問)
		委 員	■大林 英夫 (足立区少年団体連合協議会副会長)
		委 員	■勝倉 秀一 (一般公募)
		委 員	■山崎 千枝 (一般公募)
事 務 局	地域のちから推進部地域文化課	課長	浅見 信昭
	地域文化課ギャラクシティ支援担当	係長	中島 宣幸
	地域文化課学習事業係	係長	野坂 直子
	地域学習センター支援係	係長	中村 和由
	地域文化課ギャラクシティ支援担当		新井 祐介
	地域文化課学習事業係		須藤 由美

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 資料確認 4. 意見交換 5. 閉会 6. 事務連絡
<p>配布資料</p>	<p>資料1 「本日の次第」 資料2 「第3回議事録」 資料3 「平成28年度足立区ギャラクシティ運営評価委員会 評価書」 資料4 「評価項目ごとの採点一覧」 資料5 「採点票委員所見まとめ」</p>

中島係長	<p>< 1. 開会 ></p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。平成28年度第4回ギャラクシティ運営評価委員会を開催させていただきます。第3回目の委員会で委員の皆様からいただきましたご意見につきまして、振り返らせていただきます。</p> <p>まずボランティアについて、大学生など若い世代の取り入れはうまくできているが、シニア層については数が少なかった。そういったシニア層への展開を今後は進めてほしい。というご意見がありました。</p> <p>次に文化ホール事業について、3点ご意見をいただきました。1つ目は区民の文化ホール事業への参加の動機付けについてです。いい事業を多く行っているの、1度公演さえ見てもらえれば、良さが伝わり区民の来場者も増えていく。しかし、その1度目がどうしても敷居が高くなってしまっているようなので、なにか対応策をお願いしたいというご意見がありました。これを受けて2つ目のご意見ですが、動機付けの1つの方法としてアウトリーチの強化をはかっていってほしいというご意見もありました。そして3つ目は文化ホール事業とこども未来創造館との連携の強化を図ってほしいとのご意見もいただきました。以上が振り返りになります。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、宮田委員長より、ご挨拶を賜りたいと思います。</p>
宮田委員長	<p>< 2. 委員長挨拶 ></p> <p>本日の委員会が4回目となり、今年度最終回となる。皆様から評価の点数、コメントをいただき、事務局にまとめていただいた。評価書の作成にあたっては、ここに書ききれなかったご意見等について内容を修正していくことが出来るので、いい形で評価がまとまるように皆様からご意見をいただきたい。</p>
中島係長	<p>それでは、ここからの進行は、委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>
宮田委員長	<p>ただいまから、足立区ギャラクシティの平成28年度運営にかかる、第4回運営評価委員会を開会いたします。なお本日は委員数10名のうち出席者は9名となっています。まずは、本日の資料について、事務局からの確認をお願いします。</p>
新井	<p>< 3. 資料確認 ></p> <p>なお、第3回の議事録に関しまして、修正等がございましたら12月22日（金）までに事務局へご連絡をお願いいたします。</p> <p>< 4. 意見交換 ></p>
宮田委員長	<p>まず、資料4の評価項目ごとの点数について、現時点で変更があればお願いします。無いようですので、今後議論の中で変更が生じた場合はお伝えください。本日傍聴人がいる場合</p>

	<p>はここから入場いただきます。</p>
中島係長	<p>本日は傍聴人がおりませんのでこのまま議事を進行をお願いします。</p>
宮田委員長	<p>では、ここから文言調整に入ります。まずは、「管理運営体制」について、評価書の内容に盛り込んだ方が良い内容や自分の意見が反映されていないなど何かご意見があればお願いします。</p>
池田委員	<p>とりまとめていただいた意見の中で人権学習が「」書きで特にとりあげて記載されていますが、人権学習が特に成果を上げたということは第3回までの評価委員会で説明はなかったと思うので気になります。</p>
中島係長	<p>平成27年の評価では安全と接遇について取り上げていたので、今回新たにこんな研修もやってきているという意味をこめて「人権学習」をとりあげて文言を作成いたしました。しかし、池田委員のおっしゃるとおり、数多くやっている研修の中で人権学習が大部分を占めていたわけではないため、修正をしたいと思います。</p>
宮田委員長	<p>評価書の中で研修を実施した成果としてクレームが減少したと記載されていることに少し違和感があります。多くの研修を実施したこととクレーム減少についてはそれぞれ別のものとして評価をしたほうが良いと思います。</p> <p>また、評価書の一文目についてですが、昨年度と比べてという書き方になっているが、評価は年度をまたいで相対的に評価するよりも単年度で絶対的な評価をするほうが良いと思いますので、修正していただきたいと思います。</p>
中島係長	<p>わかりました。修正を加えたものを後日ご提出いたします。</p>
宮田委員長	<p>他にご意見がなければ、こども体験事業に移りたいと思います。評価書の内容に盛り込んだ方が良い内容や自分の意見が反映されていないなど何かあればご意見ををお願いします。</p>
池田委員	<p>意見の最後の部分「より一層の取り組みを期待する」はシニア層だけではなく、区民全体にかかるような文言に変えていただきたいと思います。</p>
中島係長	<p>区民のより一層の参加を期待するといった内容に修正いたします。</p>
宮田委員長	<p>他にご意見がなければ、まるちたいけんドーム事業に移りたいと思います。評価書の内容に盛り込んだ方が良い内容や自分の意見が反映されていないなど何かあればご意見ををお願いします。</p>
宮田委員長	<p>評価書の点数は皆さんの意見をまとめたものなので満点となっていますが、「採点票委員所見まとめ」見ると少し違ったニュアンスの意見もあるようです。</p>

	<p>星空学習以外のプログラムを数多く作っていて、かつ第一回目の評価委員会のとき見させていただいたプログラムも星空学習以外のものだったため、少し星空学習が多種多様なプログラムの中に埋もれてしまっていると感じたので、このように記載しました。</p> <p>しかし、評価の点数自体は3をつけていますのでこの意見内容に異論はありません。</p>
宮田委員長	<p>わかりました。私からは、ギャラクシティには単なるプログラムだけでなく、もっと施設の立ち位置として天文学や科学の入口としての機能を果たしていただきたいので、最後の一文に「天文学や科学に興味のある区民の入口となる施設」のような文言を付け加えていただきたいと思います。</p>
宮田委員長	<p>他にご意見がなければ、文化事業に移りたいと思います。評価書の内容に盛り込んだ方が良い内容や自分の意見が反映されていないなど何かあればご意見をお願いします。</p>
伊志嶺委員	<p>集客率の低かった事業について「広報の仕方やアウトリーチの検討」とあるが、その前段として分析が重要です。例えば昨年クラシック系の事業の集客が悪かったのであれば、分析をして反省点を洗い出していくということをまず行って広報の仕方やアウトリーチを検討しないと効率的ではありません。</p> <p>また、オリジナリティの高い企画を期待すると記載されていますが、創造機能をもったうえでオリジナリティの高い企画がでてくると思います。ですから、「創造機能を持つ」といった文言をどこかにいれていただければと思います。</p>
中島係長	<p>では、上段については、分析反省を行ったうえで広報の仕方やアウトリーチの検討を行うという書き方に修正いたします。後段についても「創造機能を持った施設」という文言を加えます。</p>
池田委員	<p>創造機能にもかかわってくるが、指定管理者との協定や仕様書の中で文化交流の場として具体的にこういった項目を実現してくださいと明示されているのですか。</p>
中島係長	<p>具体的には書かれていません。区民が主体になるようにといった文言は記載されていたと思います。</p>
勝倉委員	<p>文化事業については、他の項目と比べるとBとなっているが、それはなぜなのかというのがわかりにくいと思います。ではなぜこのような評価となっているのか少し細かくみると、①区民との協働が不十分であったこと②文化交流の場の創出が不十分だったというのが主理由だと思います。その部分をもう少しわかりやすく記載したほうが良いと思います。</p>
山崎委員	<p>評価書の文言が少し抽象的過ぎてわかりにくいと感じます。公募によって区民が発表できる場がありますし、ヤングアメリカンズなどのワークショップもありました。どうして成果が上がっていないという判断になるのかわかりにくいと思います。</p>
野坂係長	<p>確かに区民が発表できる場の提供はありましたが、ギャラクシティと区民が一緒に何かを作りあげていく。区民が主体的になってなにかを企画するといったところまではいかなかったのがこのよ</p>

	うな十分に成果をあげていないというまとめをさせていただきました。
中島係長	ヤングアメリカンズのような毎年行われている事業から 1 歩進んだようなことはまだできていないと思います。そこからもう 1 歩 2 歩踏み込んだ事業を展開していただきたいという考えからこのような記載となっていることをご理解いただければと思います。
伊志嶺委員	協働という言葉の捉え方に少し差異があるのではないかと思います。区民と一緒に参加するというだけで協働と考えるのか、それとも区民が主体的に取り組んでいって初めて協働と考えるのか。理想としてはもちろん区民が主体的に参加していくのが 1 番いいと思いますが、この文化ホールの創造機能が未成熟であることを考えると少し難しいのではないかと思います。ですから協働という言葉の意味をもう少し具体的に書けばよいと思います。
宮田委員長	他にご意見がなければ、広報事業に移りたいと思います。評価書の内容に盛り込んだ方が良い内容や自分の意見が反映されていないなど何かあればご意見をお願いします。
池田委員	前年度の評価書にあった「区民利用率を高める」という文言が本年度はなくなってしまっています。情報発信の工夫で利用率が上昇したことはもちろんわかりますが、区民利用率の上昇は常に課題としてあるものなので、今回の評価にも一言加えていただきたいです。
中島係長	わかりました。後ほど文言を修正いたします。
勝倉委員	「区民利用率」についての話ですが、現在の評価書は、結びの部分がぎゃらくみんライターの話で終わってしまっています。ぎゃらくみんライターが重要なのはわかりますが、これでは結論のように見えてしまいますので、区民利用率の話を最後に持ってきてはどうでしょうか。
宮田委員長	「掲載内容に誤りがあってはならず」という文言がありますが、委員の所見を改めて見直すと少しニュアンスが違うように思います。実際に掲載内容にはあったのでしょうか。
中島係長	実際に 28 年度は広報紙の掲載内容の誤りが何件かありました。そのため、評価書には少し厳しめの文言を記載しています。
山崎委員	具体的にどんな掲載内容の誤りがあったのですか。
中島係長	料金や発売日の記載内容に誤りがありません。
山崎委員	重要な内容で誤りがあったのですね。それであれば少し厳しめの文言でも納得がいきます。
宮田委員長	他にご意見がなければ、本日の議論について、確認を行っていきたい。 「管理運営体制」については、「改善が見られる」というところをもう少し具体的に記載してもらいます。さらに冒頭の文の昨年度と比較をした書き方を修正してもらいます。 「子ども体験事業」については、ボランティアの活性化という文言を組み込んでもらいます。

	<p>「まるちたいけんドーム活用事業」については、最後の文の「プログラムの実施」ではなく、もっと大きな施設としての役割的なものに修正してもらいます。</p> <p>「文化事業」については、集客率の低かった事業については分析を行ってほしいという文言を追加してもらいます。またワークショップの実施を積極的に行い成果は上がっていますが、ギャラクシティの特色を活かしきれてはいないので、今後はその部分の改善を期待する趣旨の文言の追加をお願いします。最後に全体を通してこの評価につながった理由がわかりにくいので、もう少し明瞭にわかるよう修正してもらいます。</p> <p>「広報事業」については、最後の一文をぎゅらくみんライターから区民認知度を高めるという文章に修正してもらいます。</p> <p>それでは最後に、評価の方法などについてご意見があればお願いします。</p>
小森委員	表記の仕方で「ギャラクシティ」と「ギャラク」が混在しているところがありますので、「ギャラクシティ」で統一をお願いします。
山崎委員	まるちたいけんドーム事業について、評価の点数が100点満点ということになっていますが、子どもたちと星を結びつけるという役割は少し弱かったように感じました。
中島係長	まるちたいけんドーム事業は、入場者数や上映プログラムの本数について提案書を大きく上回っています。幼児向けのプログラムの展開などで入場者数を増やす努力もしてきています。また、子どもたちと星を結びつけるようなプログラムの工夫もしていますので、このような点数を委員の皆様につけていただいたと考えています。
宮田委員長	では、天文学や科学と子どもたちをうまく橋渡しすることを強く期待するといったようなニュアンスの文言を追加するのはどうでしょうか。
中島係長	では最後の文章にご提案にあったような文言を付け加えたいと思います。
宮田委員長	全体を通して他にご意見がなければ、今後の流れについて事務局から説明してもらいます。
中島係長	今後は、ご意見をいただいた内容をもとに修正を行い委員の皆様にご確認いただきます。その後は足立区議会と足立区教育委員会へ報告を行い、2月の中旬にはホームページ上に結果を掲載いたします。なお、文言の調整は12月までに確定させていただきたいと考えております。
宮田委員長	では最後に評価委員の2年間の任期が今回で終わりますので、委員の皆様から一言ずついただいて閉会としたいと思います。
伊志嶺委員	評価するということはとても難しいことだと改めて感じました。実際に西新井文化ホールでコンサート等を鑑賞したりワークショップを見学させていただくとすばらしいものが多く、子ども未来創造館と同じくらい注目・認知がされていないことが残念に思えました。今後は西新井文化ホールのファンの一人としてどうなっていくのか見守っていきたいと考えています。

小森委員	2年間みていると指摘を受けた部分についてかなり改善が見られました。評価の点数の付け方についてですが、「2」が普通で「3」をつけてしまうと満点となってしまいます。まだ改善の余地があるところに満点の3をつけるのは難しいと感じる場面が多く「2.5」のような間の点数もあると評価しやすいと感じました。
井徳委員	私は神奈川県に住んでいて、ギャラクシティの評価委員になるまでギャラクシティについて知りませんでした。他県からも電車一本で来ることができ、大人のためのプログラム等も実施している施設なので、もう少し東京都以外にも情報発信していければいいと感じました。また、小森委員もおっしゃっていましたが、点数は3段階ですとつけにくいと感じましたので、そこは今後の課題になるかと思います。
池田委員	評価の項目が5つに分かれています。項目をまたがっている事柄や横断的に考えた方がいい事柄についての評価が難しいと感じました。 また指定管理者の立場にたつて少考えてみますと、区民の方に来ていただくという目標と区民の方と一緒に何かを作りあげていくという目標はかなり難しいことだと感じました。今後この施設を発展させていくうえでこのあたりのバランスが重要になってくるのではないかと思います。
宮田委員長	昨年度の評価書の中の大きな課題として「区民への認知度を高める」というものがあり、今年はそれが反映されていたと感じました。今後のギャラクシティのありかたについて考えるとこの評価書にあげられた項目だけではなく、もうひとつ上の段階でどういったものを目指していくのかについて考えていくことが重要だと思いました。
林委員	これまではワークショップでの美術館との連携くらいしか関わりがありませんでしたが、今回評価委員となつていい面を多く見ることができました。年に4回しか評価委員会はないので、限られた時間で事業をみていくということがかなり難しかったです。また実際にワークショップを見学させていただいて楽しんだ子供たちがそのあとさらに続いていけるような取り組みがもっと増えていけば、また来たいと思ってくれるこどもが増えていくと思いました。
大林委員	運営の評価をするというのは非常に難しいと感じました。大人目線でいいものと子ども目線でいいものは全く違うということはこの評価委員の中で学ぶことができました。子どもの意見だけでなく、中高生の意見や子どもをもつ親の意見をもっと取り入れていけば足立区民の利用率も上がっていくのではないかと思います。
勝倉委員	昨年度から今年度の評価をしてみる大きく改善が見られました。自分たちの前の委員の評価を議事録等で確認してみるとやはり前年度は評価が低く任期2年目である次年度は高くなっていました。2年任期の評価委員ではこのような状況が続いていってしまうのではないかと感じました。これを改善するためにはもっと評価の項目を細かくしたり、目標や施設としての在り方・存在意義のようなものを明確にして評価がぶれないようにしていく必要があるのではないかと感じました。
山崎委員	私は4年前からギャラクシティを利用してきているが、そのときから比較するとかなり改善され

	<p>てきていると感じています。評価委員会については、評価委員同士での意見交換の場を増やしていただければと思います。また評価委員の女性の人数をもう少し増やしてほしいと思いました。ギャラクシティを利用するのは子育てをしている女性が多いと思いますのでもう少し女性の割合を増やして意見を聞いてもらえるとよりよい施設となっていくのではないかと感じました。</p> <p>< 5. 閉会 ></p>
宮田委員長	<p>それでは以上をもちまして、足立区ギャラクシティの平成28年度運営にかかる、第4回運営評価委員会を閉会いたします。</p>
中島係長	<p>< 6. 事務連絡 ></p> <p>今回が最終回ですので、評価委員会で使用しました資料を回収させていただきます。机の上に置いていただければ、後ほど回収に参ります。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。</p>